

東みよし町 事務事業評価シート

評価年度	令和2年度	事業年度	令和元年度
------	-------	------	-------

1 事務事業の概要

事務事業名	住宅新築資金等償還事業			整理番号	1009-025
前総合計画体系	政策	第5章 定住と交流を育む東みよし		担当部署	建設課
	基本施策	2 住宅施策の推進		所属長	小浦 清
	単位施策	(1) 良好な住宅地の形成		電話番号	79-5342
根拠法令等	同和対策事業特別措置法(現在は終了しているが、経過措置として償還残分に適用。)				
事業実施方法区分	<input checked="" type="checkbox"/> 町直営	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	<input type="checkbox"/> 指定管理	<input type="checkbox"/> 補助金等
事業継続年数	事業開始年度	昭和55年度	<input type="checkbox"/> 5年以内	<input type="checkbox"/> 6年～10年	<input type="checkbox"/> 11年～20年 <input checked="" type="checkbox"/> 21年以上

2 事務事業の目的・内容・成果

事務事業の対象 <small>具体的に誰(なに)を</small>	対象地域内で、宅地取得・住宅の新築資金等の貸付けを希望する者	対象者	1人
事務事業の目的 <small>どのような状態にしたいのか</small>	計画的な償還を継続する。		
事務事業の内容 <small>どのような方法・手段で事務事業を行ったか</small>	<p>新規事業は終了しているので、償還事務のみ実施。</p> <p>1.年度当初に個人宛納付書を作成し、送付する。随時納付される償還金の収納、消込作業 2.県住宅課へ償還状況の調査報告を作成し提出</p>		
事務事業の成果 <small>結果・実績はどうか</small>	<p>平成21～24年度で滞納となっていた1,251,000円については全額償還済み。 平成25～28年度についての収納率は100%。令和2年度完済予定。</p>		
特記事項			

3 事業費の推移と評価対象年度経費

	平成30年度	令和元年度(評価対象年度)	令和2年度(見込)
事業費【(a)～(e)の合計】	0 <small>うち繰越分↓</small>	0 <small>うち繰越分↓</small>	0 <small>うち繰越分↓</small>
財源内訳	国庫支出金(a)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	県支出金(b)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	地方債(c)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	その他(d)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	うち受益者負担	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
	一般財源(e)	<small>うち繰越分↓</small>	<small>うち繰越分↓</small>
特定財源の名称・金額			
令和元年度経費の内訳 <small>事務事業に係る経費の詳細</small>	予算科目(歳出区分) 会計	款	項 目
備考	住宅新築資金貸付金元利収入は、当該事業に係る公債費に充当している。		